

授業科目名：コミュニケーションⅡ		クラス：F2A、B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：小林蓮佳			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
人間社会において、意思疎通、ビジネス、人間関係の構築に欠かせないコミュニケーション能力を聴く、話すトレーニングを重ねることで、コミュニケーションのテクニックを意識し、試みる態度を持つようになること。			
《到達目標（1年間）》			
いろいろな状況において、聞き手上手、話すのが苦手じゃなくなること。			
《授業の進め方と方法》			
グループに分けて、トピックに対して、議論、トレーニングを重ね、最終的に伝える練習をする発表をする			
《授業計画》			
① 授業の進め方、授業の意義について説明 ② グループごとに分かれて、自己紹介をする ③ 「聴くトレーニングをする」意義と説明 ④ 自己紹介で「聴くトレーニングをする」聞く、質問するなど ⑤ 日本語の曖昧さから見えるコミュニケーションの取り方を考える ⑥ 異文化から見えるコミュニケーションの取り方を考える ⑦ 「接触行動」からいろいろな国のコミュニケーションの取り方を比較する① ⑧ 「接触行動」からいろいろな国のコミュニケーションの取り方を比較する② ⑨ 他国の「接触行動」を理解したうえで、日本人とコミュニケーションの取り方を考える ⑩ 主にビジネスにおけるメールのやり取りから見えるコミュニケーション能力 ⑪ メールでのコミュニケーションのフィードバックと感想を書く ⑫ コミュニケーションの伝える能力のトレーニング ⑬ 発表の準備 ⑭ 発表 ⑮ 発表			
《教科書》			
特になく、自作資料			
《評価の方法》			
出席、提出物、発表など総合的に評価する			
《備考》			

授業科目名：社会・経済論		クラス：B2A,B.C.D	
担当：時安			
年次：1		総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
社会人として求められる社会・経済についての基礎知識を身につける			
≪到達目標（1年間）≫			
現在の日本社会の諸問題とビジネス経済について考察し理解を深める			
≪授業の進め方と方法≫			
プリントに記入しながら基礎事項を確認し、自分の考えをまとめる			
≪授業計画≫			
第1課 日本の社会・経済について			
第2課 少子高齢化問題・ジェンダーギャップ			
第3課 日本の労働環境 さまざまな働き方			
第4課 世界GDP比較・日本の在留外国人 ・日本の税体系			
第5課 産業の種類 企業の種類 企業の社会的責任			
第6課 日本の農業問題・エ 工業生産			
第7課 企業のビジネスモデル分析・垂直統合 TOY・水平分業			
第8課 仲介型プラットフォーム			
第9課 シェアリングエコノミー			
第10課 製造小売SPA			
第11課 フランチャイズ チェーン			
第12課 シェアリング エコノミー			
第13課 サブスクリプション			
第14課 行動経済学			
第15課 まとめ			
≪教科書≫			
ビジネスモデル（SBクリエイティブ）			
≪評価の方法≫			
プリント作成・意見発表・出席率			
≪備考≫			
授業の状況により取り上げる内容が多少変更する可能性があります			

授業科目名：異文化理解		クラス：F2A、B2A、B2B、B2C、B2D（合同）	
担当：外部講師、袴田			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
外部からの講師による講義は、学生にとって目新しくもあり自分にも当てはまることでもあり、興味深く感じるようだ。単なる講義ではなく、人の生き様が見え隠れすることで学生の人生にも将来にも通じる内容で、ヒントや激励になるはずである。			
《到達目標（1年間）》			
留学生にとって日本だけが異文化ではなく、自分たちと同様海外からやってきている他の国の学生たちの文化も異文化である。異文化を敢えて意識化し、お互いの違いをどのように乗り越えるべきか考えるきっかけとなりそれが将来への助言になることを期待する。			
《授業の進め方と方法》			
講師がそれぞれPWPやプリントなどの教材を用意する。なるべくグループワークや活動などを利用し、活発な意見交換ができる授業を展開してほしいと願っている。			
お知り合いや卒業生など、身の回りで活躍する生まれが外国籍の方に講師をお願いする予定である。国籍には、なるべく多国籍に展開したいところだが、さまざまな理由で一人の先生に二回お願いするようなこともあり得る。例年は、ペルー、インドネシア、バングラデッシュ、台湾、ベトナム、さらには、海外で生活をしたことのある日本人先生にお願いし、アフリカ、イギリス、カザフスタン、南米などのお話も予定したいと考えている。			
《教科書》			
各講師の先生がご準備なさる			
《評価の方法》			
毎回、振り返りシートに授業の内容や感想を書かせて回収し、総合的に評価する			
《備考》			
授業をなさるのは外部講師だが、担当の袴田が毎回同席し、授業の内容、学生たちの様子を見て、評価につなげる			

授業科目名：比較言語		クラス：F2A	
担当：田中、小林蓮佳			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国語、もしくは、中国語に加え、英語を学ぶ日本語母語話者を対象とし、それら言語の成り立ち、文法、音韻等を知り、日本語と比較する感覚を身につけ、より効果的な外国語の学びに役立てることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
韓国語、中国語、英語等を日本語と比較し、文法、音韻等の違いを理解する。			
《授業の進め方と方法》			
前半:講義形式:講師作成のプリントへ書き込む。個別形式:各学生が関心ある言語を選び調べて紹介する。 後半：テーマ別に資料を用意して、それに沿って講義、討論、調べるなどの方法で進める。			
《授業計画》			
第1回 概論（1）（日本語の方言）/関心のある言語の選択			
第2回 概論（2）いろいろな言葉（世界の言語）、印欧語の親族関係/関心のある言語の挨拶			
第3回 印欧語の歴史、文法と音韻/関心のある言語の名詞の格変化			
第4回 英語の文法と音韻/関心のある言語の動詞の活用			
第5回 英語と日本語の比較（1）/関心のある言語の発音			
第6回 英語と日本語の比較（2）/関心のある言語の英語からの翻訳			
第7回 英語と日本語の比較（3）/関心のある言語の英語からの翻訳			
第8回 まとめ/関心のある言語の紹介（発表）			
第9回 日中韓漢字の由来を比較する			
第10回 漢字の読みに関する比較			
第11回 日中韓文法的な比較（1）			
第12回 日中韓文法的な比較（2）			
第13回 日中韓表現の比較（1）			
第14回 日中韓表現の比較（2）			
第15回 まとめ			
《教科書》			
前半:講師作成のハンドアウトを配布する。 後半：資料を配布する			
《評価の方法》			
前半：提出物、授業態度（出席、意欲、活動参加）、最終日の発表などにより総合的に評価する。 後半：出席率、提出物、レポートなどで総合的に評価するが、授業態度も加味する			
《備考》			
1～8週: 田中、9～15週: 小林			

授業科目名：現代史		クラス：F2A	
担当：時安			
年次：1	期間：1 学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
韓国語や中国語を学ぶ学生として身につけておきたい日・中・韓の現代史について考察する			
《到達目標（1年間）》			
現代の韓国や中国についての理解を深めるとともに日本の現代史の理解も深める			
《授業の進め方と方法》			
自作のプリントに記入しながら自分の考えをまとめる			
《授業計画》			
第1課 日本の戦後復興 第2課 高度経済成長 所得倍増計画 第3課 日本列島改造 金権政治のゆがみ 第4課 バブル景気の光と影 第5課 リーマンショックと失われた30年 第6課 アベノミクスのもたらしたもの 第7課 予備 第8課 中国 毛沢東時代 大躍進運動と文化大革命 第9課 鄧小平時代 改革開放 第10課 江沢民・胡錦濤時代 社会主義市場経済 天安門事件 第11課 習近平時代 一帯一路政策 共同富裕 第12課 韓国 解放と分断 第13課 朴正熙独裁 第14課 金大中 民主化へ 光州事件 第15課 21世紀の韓国			
《教科書》			
自作プリント			
《評価の方法》			
プリントのまとめ・意見発表・出席			
《備考》			

授業科目名：文章表現・レポート作成		クラス：F2A	
担当：山内			
年次：1	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
学習言語の表現をより豊かにするために、母語である日本語の文章表現力を高める。 レポートの基礎的な構成を学び、自分の関心のある事柄について調べて、簡単なレポートを作成する。			
《到達目標（1年間）》			
母語である日本語での表現力を伸ばすことで、学習言語においてもより高度な表現を用いることができるようになる。レポート作成におけるの基本的な構成を知る。			
《授業の進め方と方法》			
課題を課し、作文やレポートを書くこと、発表を行うことで、文章表現力を伸ばしていく。			
《授業計画》			
1 課題①自己紹介と課題②(自分の好きな外国語の歌を紹介する)の準備 2 課題②の準備→提出 3 課題②の発表 4 課題③（外国語の本を翻訳し、朗読する）の準備 5 課題③の準備 6 課題③の準備→提出 7 課題③の発表 8 課題④（自分の外国語学習歴）の準備 9 課題④の準備（スライド作成） 10 課題④の準備（スライド作成） 11 課題④の発表 12 課題⑤（レポートの形式で関心のある事柄について調べて発表）の準備 13 課題⑤の準備（スライド作成） 14 課題⑤の準備（スライド作成） 15 課題⑤の発表 ※予備課題⑥（お気に入りの商品の紹介）			
《教科書》			
なし			
《評価の方法》			
提出物30％と発表70％により評価する			
《備考》			

授業科目名：オフィスIT技術		クラス：F2A	
担当：高木			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
Excelの最新版の技術習得と実践			
《到達目標（1年間）》			
日商PC検定データ活用3級レベルに到達する			
《授業の進め方と方法》			
プロジェクターを使用して講義を行い、実習による習得			
《授業計画》			
1 w Excelとは何か			
2 w Excelの保存やセル等の基本			
3 w 表操作等			
4 w グラフⅠ			
5 w グラフⅡ			
6 w 数式Ⅰ			
7 w 数式Ⅱ			
8 w 数式Ⅲ			
9 w 数式Ⅳ			
1 0 w データと校閲と表示			
1 1 w 演習Ⅰ			
1 2 w 演習Ⅱ			
1 3 w 演習Ⅲ			
1 4 w 演習Ⅳ			
1 5 w 試験			
《教科書》			
『日商PC検定データ活用3級』技術評論社			
《評価の方法》			
参加度50%、課題点50%			
《備考》			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：High	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS、K.BELL			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英語で技術的な議論ができ、複雑な文章の主要な内容を理解し、幅広い話題に関し明確な文章を作ることができる。 ・英文法を学習し、複雑な文章を正しく理解できる。さらに明確な英文を作成できる。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのB2または実用英語技能検定準１級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
各教官は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○4技能: テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話: プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○プレゼンテーション: 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 ○検定試験対策: 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○プレゼンテーション: パラグラフの構成 ○英会話: Giving opinions, Agreeing and disagreeing, Health and safety, Suggestions and advice, etc. ○4技能: Making bookings and checking arrangements, Writing an e-mail, etc.			
<2学期> ○プレゼンテーション: 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話: Giving a presentation, Rules and requests, Work idioms, Discussing issues, etc. ○4技能: Making decisions, Writing an e-mail, etc.			
<3学期> ○プレゼンテーション: 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話: Apologies and explanations, Tasks and targets, Dealing with complaints, Transportation and travel, etc. ○4技能: Describing a product, Writing an e-mail, etc.			
《教科書》			
・Market Leader Elementary (Pearson Longman)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB2（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：High Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、小林			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英語で技術的な議論ができ、複雑な文章の主要な内容を理解し、幅広い話題に関し明確な文章を作ることができる。 ・英文法を学習し、複雑な文章を正しく理解できる。さらに明確な英文を作成できる。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのB2または実用英語技能検定準1級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
各教官は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○4技能: テキストに沿ってペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話: プリントを用いてペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○プレゼンテーション: 基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。 ○検定試験対策: 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○4技能: Health and body, Going to a pharmacy, etc. ○プレゼンテーション: パラグラフの構成 ○英会話: Giving opinions, Agreeing and disagreeing, Health and safety, Suggestions and advice, etc.			
<2学期> ○4技能: Directions, Asking how to get there, etc. ○プレゼンテーション: 効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話: Giving a presentation, Rules and requests, Work idioms, Discussing issues, etc.			
<3学期> ○4技能: People from different countries, On the phone, etc. ○プレゼンテーション: 英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話: Apologies and explanations, Tasks and targets, Dealing with complaints, Transportation and travel, etc.			
《教科書》			
・American English File Level 2 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50％、校内試験の結果50％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB2（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：Inter.	
担当：Y.ASSADY、C. CIACIRU、K.ROBERTS、柳瀬			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの4技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（1年間）》			
・CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○4技能：プリントを用いて、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話：テキストに沿って、ペアワーク・グループワーク・ディスカッションを交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション：基礎について講義形式で説明した後、演習形式の授業を行い、最終発表を評価する。			
《授業計画》			
<1学期> ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション：パラグラフの構成 ○英会話：Charity work, Sports, Movies, etc. <2学期> ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション：効果的な発表の仕方・パワーポイントの作成 ○英会話：Multinational Business, Tourism, Food, etc. <3学期> ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。 ○プレゼンテーション：英語によるプレゼンまたはスピーチ発表 ○英会話：Technology, Science, etc.			
《教科書》			
・Reading Advantage 2 (Cengage Learning)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価50％、校内試験の結果50％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：Pre Inter.	
担当：K.ROBERTS、田中、柳瀬			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・ 仕事等で普段出会うような身近な話題について主要な点を理解し、たいていの事態に英語で対処することができる能力を育成する。 ・ 英文法を学習し、筋の通った簡単な英文を作成できる能力を育成する。 ・ Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・ CEFRのB1または実用英語技能検定2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法： 講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能： テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話： プリントを用いて、ペアワーク、グループワークでのスピーキング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能： Directions, Understanding a menu, etc. ○文法： Questions, Reported speech, -ing and to… ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能： Places and buildings, city vacations, etc. ○文法： Go, get, do, make, and have, Pronouns and possessives, A and the ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能： Phones and the internet, Public transportation, etc. ○文法： Determiners and pronouns, Adjectives and adverbs, Word order ○検定試験対策： 検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・ Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・ American English File Level 1 (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのB1（自立した言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：ビジネス英語（２年）		クラス：Elementary	
担当：K.ROBERTS、小林、田中、柳瀬			
年次：2	期間：通年	総時間数：225	単位数：15
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・海外との仕事等において、ごく基本的な事柄に関しては、文やよく使われる表現を理解できる能力を育成する。 ・英文法を学習し、身近な日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる能力を育成する。 ・Reading/Writing/Listening/Speakingの４技能のバランスの取れた向上を目指す。			
《到達目標（１年間）》			
・CEFRのA2または実用英語技能検定準2級相当の英語能力を身につける。			
《授業の進め方と方法》			
担当教員は以下のいずれかを中心項目として指導する。 ○文法：講義形式で文法を説明した後、ドリル練習を行い知識の定着を図る。 ○４技能：テキストに沿って、ペアワーク、グループワーク、リスニング練習を交えながら進める。 ○英会話：プリントを用いて、ペアワーク、グループワークでのスピーキング練習を交えながら進める。 ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《授業計画》			
<1学期> ○４技能：Activities, Saying the date, talking on the phone ○文法：Questions, Reported speech, -ing and to… ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<2学期> ○４技能：Traveling, Clothes, Inviting and offering ○文法：Go, get, do, make, and have, Pronouns and possessives, A and the ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
<3学期> ○４技能：Hotels, Asking for and giving directions ○文法：Determiners and pronouns, Adjectives and adverbs, Word order ○検定試験対策：検定試験の模擬テストを行った後、講義形式で解答を説明する。			
《教科書》			
・Basic Grammar in Use (Cambridge University Press) ・American English File Starter (Oxford University Press)			
《評価の方法》			
小テスト、提出物、授業時の活動（意欲・関心）などの総合的評価５０％、校内試験の結果５０％			
《備考》			
《授業の概要と目的》の一部は、ケンブリッジ大学英語検定機構版CEFRのA2（基礎段階の言語使用者）レベルを参考 ※3学期は校内試験を課さない。			

授業科目名：韓国語文法		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然・小林範彦・勝又			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：120	単位数：8
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
それぞれ、中級、上級の文法を習い、応用、活用ができるようにするのが目的である。			
≪到達目標（1年間）≫			
上のレベルはハングル検定2級の取得 下のレベルはハングル検定3級以上の取得			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
課ごとの文法を説明し、活用練習をする			
≪授業計画≫			
第1学期		第2学期	
(上のレベル) Easy Korean 3B Unit4~Unit8 Easy Korean 4A Unit1~Unit6 (下のレベル) Easy Korean 2A Unit3~Unit8 Easy Korean2B Unit 1 ~Unit4		(上のレベル) Easy Korean 4A Unit7~Unit8 Easy Korean 4B Unit1 ~Unit8 (下のレベル) Easy Korean 2B Unit5-Unit8 Easy Korean 3A Unit1 ~Unit8	
≪教科書≫			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A~2B 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 3A~3B 2022年（改訂版）ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 4A~4B 2022年（改訂版）ハングルパーク			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、授業態度、課題、小テストなどによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語総合スキル		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然・小林範彦・勝又			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：90	単位数：6
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
中級も上級も読み、書き、聴き、話す4技能をバランスよく伸ばすのが目的である。			
≪到達目標（1年間）≫			
上のレベルは中上級の内容が聞き取れるようになり、内容が理解できる 下のレベルは初中級の内容が聞き取れるようになり、内容が理解できる。			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
課ごとの内容に沿って授業を進めていく。			
≪授業計画≫			
第1学期		第2学期	
(上のレベル) Easy Korean 3B Unit4~Unit8 Easy Korean 4A Unit1~Unit6 (下のレベル) Easy Korean 2A Unit3~Unit8 Easy Korean2B Unit 1 ~Unit4		(上のレベル) Easy Korean 4A Unit7~Unit8 Easy Korean 4B Unit1 ~Unit8 (下のレベル) Easy Korean 2B Unit5-Unit8 Easy Korean 3A Unit1 ~Unit8	
≪教科書≫			
Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 2A~2B 2022年（改訂版） ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 3A~3B 2022年（改訂版） ハングルパーク Easy Korean Academy 『New Easy Korean for foreigners』 4A ~ 4B 2022年（改訂版） ハングルパーク			
≪評価の方法≫			
講師評価50％（出席、授業態度、小テスト、課題などによる総合評価） 校内試験50％			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語会話		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然・小林範彦・勝又			
年次：2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
中級と上級の学生が話題のニュース、記事に関して、自分の意見を韓国語で言う練習を重ねて、言えるようになるのが目的である。			
≪到達目標（1年間）≫			
ニュースなどについて、自分の意見を述べることができる			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
慣用句、ニュースなどを抜粋して、内容の単語を習いつつ、自分の意見をまとめて話す			
≪授業計画≫			
第1学期			
慣用句数回分抜粋 読みやすい時事ニュースを数回分ピックアップ ビジネスに関する記事を数回分抜粋			
≪教科書≫			
なし、プリント対応			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、授業態度、課題、小テストなどによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語読解		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然・小林範彦・勝又			
年次： 2	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
TOPIKⅡの読解の問題が理解でき、長短文がすらすら読めるようになると同時に正答を導けるようになる。			
≪到達目標（1年間）≫			
TOPIKⅡ3級以上取得できる			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
毎回TOPIKⅡの読解の過去問4～5問を抜粋し、それについて説明、知らない単語を調べるなど問題を徹底的分析する			
≪授業計画≫			
第1学期	第2学期	第3学期	
W1～W4：TOPIKⅡ読解 4～5問、ビジネス韓国語1～2 W5～W8：TOPIKⅡ読解 4～5問 ビジネス韓国語3～4 W9～W12：TOPIKⅡ読解 4～5問 ビジネス韓国語5～6 W13～W15：TOPIKⅡ読解 4～5問 ビジネス韓国語7～8	W1～W4：TOPIKⅡ読解 4～5問、ビジネス韓国語9～10 W5～W8：TOPIKⅡ読解 4～5問、ビジネス韓国語11～12 W9～W12：TOPIKⅡ読解 4～5問、ビジネス韓国語13～14 W13～W15：TOPIKⅡ読解 4～5問、ビジネス韓国語15～16	W1～W3：ハングル検定対策① W4～W6：ハングル検定対策② W7～W9：ハングル検定対策③ W10～W12：ハングル検定対策④ W13～W15：ハングル検定対策⑤	
≪教科書≫			
『Business Korean 비즈니스 한국어』ヨンセ大学 大学出版文化院			
≪評価の方法≫			
講師評価100％（出席、宿題、授業態度などによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語作文		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然・小林範彦・勝又			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
自己紹介からはじめ、自分の考え方、意見、見解などを文章にまとめることができるようになる。			
《到達目標（1年間）》			
韓国語で文章が書ける。 TOPIK II の課題作文が書ける。			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
TOPIK II の600文字の作文のテーマを抜粋して、作文を日本語に訳し、さらにテーマに沿って、作文を書いて、添削して、完成させる繰り返しで行う。			
《授業計画》			
第2学期		第3学期	
W1～W3 TOPIK II の作文① W4～W6 TOPIK II の作文② W7～W9 TOPIK II の作文③ W10～W12 TOPIK II の作文④ W13～W15 TOPIK II の作文⑤		成果発表会のための文章を テーマ決め（2回） 内容を箇条書き（1回） 内容を膨らまして書き、（3～4回） 書き終わったのを何回か添削（3～4回） 仕上げ（1～2回）	
《教科書》			
特になし			
《評価の方法》			
講師評価100％（出席、授業態度、完成度、内容などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：韓国語表現		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然・小林範彦・勝又			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
韓国の伝来童話、昔話を通して、自然な韓国語の表現を学ぶ。			
≪到達目標（1年間）≫			
韓国語らしい表現が身に着ける。			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
韓国語童話をYOUTUBEで見せて、日本の童話などを比較する。それから所感、あらすじを韓国語で書いて、学生同士で質問しあう			
≪授業計画≫			
第3学期			
W1～W3 伝来童話（昔話）① W4～W6 伝来童話（昔話）② W7～W9 伝来童話（昔話）③ W10～W12 伝来童話（昔話）④ W13～W15 伝来童話（昔話）⑤			
≪教科書≫			
なし			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、授業態度などによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：韓国語プレゼンテーション		クラス：2年韓国語	
担当：鄭淑然、小林範彦、勝又			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
2年間の習得した知識を使って、レポートを書き、それをPPTで発表する。			
≪到達目標（1年間）≫			
韓国語でプレゼンができる。			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
書いた作文をもとにPPTを作り、パワーポイントを見せながらプレゼン練習をして、最終的に発表会で発表をする。			
≪授業計画≫			
第3学期			
W1～W3：PPT作成 W4～W5：発表文と照らし合わせながら確認 W6～W10：それぞれ発表の練習をする W11～12：全体で発表の練習 W13～W15：リハーサルと本番			
≪教科書≫			
なし			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、授業態度、完成度、本番発表などによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語文法		クラス：2年中国語	
担当：俞虹、楊玲、小林蓮佳			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：120	単位数：8
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
中級の文法学習と応用を中心にした授業で、多くの接続詞、副詞を使ったより複雑な表現ができるようになる			
≪到達目標（1年間）≫			
HSK4級の取得 中級レベルの文法の応用力が身に着く			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
テキストに沿って、課ごとの文法の説明と練習を進めていく			
≪授業計画≫			
第1学期		第2学期	
HSK4級上 第1課～第10課の文法事項と説明		HSK4級下 第11課～第20課の文法事項と説明	
・ 连词：不仅・・・也/还/而且，即使・・・也，既・・・又/也/还・・・，尽管，而，不管，要是，只要，因此，可是，结果，不过，由于 ・ 副词和形容词：从来，刚，正好，差不多，却，挺，本来，另外，原来，并，甚至，肯定，实际上，尤其，竟然，可不是，往往，难道，比如 ・ 动词：以为，再说，值得，估计，使，通过，上， ・ 介词：按照， ・ その他： 对・・・来说，		・ 连词：无论，否则，然而，同时，并且，相反，既然，于是， ・ 副词和形容词：大概，偶尔，千万，来，可，仍然，是否，接着，究竟， ・ 动词：进行，动词，想起来，弄，恐怕，到底，倒，干，在于，上，出来 ・ 介词：由，随着，以，拿来说，	
≪教科書≫			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』上 北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』下 北京語言大学出版			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、課題、授業態度、小テストなどによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語総合スキル		クラス：2年中国語	
担当：俞虹、楊玲、小林蓮佳			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：90	単位数：6
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
中級の文字・語彙、文型の習得と同時に4技能のステップアップを目指す。			
≪到達目標（1年間）≫			
HSK4級以上の取得 日常生活において、ある程度中国語を話せる、聞き取れる、コミュニケーションがとれる。			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
主にワークブックを使って、聴き、読解、書きの練習を行い、課ごとの文法の応用で会話の練習を行う			
≪授業計画≫			
1学期		2学期	
HSK4級 上 ワークブック第1課～10課 リスニング リーディング ライティング		HSK4級 下 ワークブック 第11課～第20課 リスニング リーディング ライティング	
≪教科書≫			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』上 练习册 北京語言大学出版 『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』下 练习册 北京語言大学出版			
≪評価の方法≫			
校内試験50％ 講師評価50％（出席、課題、授業態度などによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語会話		クラス：2年中国語	
担当：小林蓮佳、楊玲、俞虹			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
生活の場面において、ある程度中国で自分の意思を伝えることができることを目的とする。			
≪到達目標（1年間）≫			
中級の中国語の会話力が身に着く			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
ペアワーク、グループワークを中心に中級の語彙、文型を使った少し難易度のある会話を行う。			
≪授業計画≫			
第1学期			
第1課 「愛」について、必要な単語、構文を習い、自分を意見を中国語で言う			
第2課 「友情」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を中国語で言う。			
第3課 「印象」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を中国語で言う。			
第4課 「仕事」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を中国語で言う。			
第5課 「買い物」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を中国語で言う。			
第6課 「値段」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を中国語で言う。			
第7課 「健康」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を中国語で言う。			
第8課 「生活に対する態度」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を言う			
第9課 「成功」について、必要な単語、構文を学習し、自分の意見を言う。			
第10課 「幸せ」について、必要な単語、構文の学習し、自分の意見を言う。			
≪教科書≫			
『標準教程 STANDARD COURSE HSK 4』北京語言大学出版			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、積極性、宿題、課題などによる評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語読解		クラス：2年中国語	
担当：小林蓮佳、楊玲、俞虹			
年次： 2	期間：通年	総時間数：75	単位数：5
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
中級の読解文の新出単語の把握、習得に加え、長い文をすらすら読めること。さらに、文章の内容を理解し、中国語の独特な表現、言い回しになれること。			
≪到達目標（1年間）≫			
中級の読解の文章を黙読して、7－8割の内容が理解できる。上級へシフトするための語彙力の蓄積ができ、中国語らしい表現ができる			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
1 Unitごとに「精読」「速読」「故事成語」から成り立っている。精読の部分を中心に単語を把握し、本文を読んでしっかり理解できてから、速読と故事成語をざっと説明し、知識を広げていく。			
≪授業計画≫			
第1学期	第2学期	第3学期	
テキスト Unit1～5まで 精読 速読 成語故事	テキスト Unit5～10まで 精読 速読 成語故事	テキスト Unit11～12まで 精読 速読 成語故事	
≪教科書≫			
张美霞 编著「实用汉语阅读教程」中级上 北京语言大学出版社 2021年第一版（テキスト）			
≪評価の方法≫			
講師評価100％（出席、授業態度、宿題、課題、小テストなどによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語作文		クラス：2年中国語	
担当：兪虹、小林蓮佳、楊玲			
年次： 2	期間：2学期間	総時間数：60	単位数：4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
初級、中級の語彙、文法を使いこなして、最終的に中国語で自分の見解、分析をレポートに書けることを目的とする。			
《到達目標（1年間）》			
中国語である程度の自分の意見を述べることができる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
作文の例をいくつかを読んで、今まで習った文法を使って簡単な文から書き始め、少しずつ増やしていく。			
《授業計画》			
2学期		3学期	
テーマごとに書く 自己紹介 家族の紹介 私の一日 趣味について 友人を紹介 学校を紹介 中国語の勉強について 中国或いは中国語の魅力を感じる分野		例年のプレゼンを見せる 例年のプレゼンテーマを紹介 レポートのテーマを考える（構想） レポートの内容を簡条書き レポートの肉付け レポートの直し レポートの最終直し 発表の練習	
《教科書》			
教科書は特に指定はないが、必要に応じてプリントを用意して配布する。			
《評価の方法》			
講師評価100％（出席、授業態度、宿題、課題、作文の完成度などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：中国語表現		クラス：2年中国語	
担当：小林蓮佳、龔虹、楊玲			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
≪授業の概要と目的≫			
中国人同士の会話でよく使う慣用句を習い、中国語の独特な言い回し、表現を身に着けることを目的とする。			
≪到達目標（1年間）≫			
日常会話で使う慣用句が理解できる			
≪授業の進め方と方法≫			講義・演習
テキストの課ごとの会話文を読み、意味を解説しながら進めていく。			
≪授業計画≫			
第1学期			
第一課 我自己的钱爱怎么花就怎么花 第二課 这次考试又考砸了 第三課 这60块钱就打水漂儿了 第四課 你可真是个马大哈 第五課 这事让我伤透了脑筋 第六課 有的路口都乱成一锅粥了 第七課 这都是看爱情小说看的 第八課 在工作上他向来一事一，二是二 第九課 为了孩子我们豁出去了 第十課 这事儿八成儿得黄			
≪教科書≫			
沈建华「汉语口语习惯用语教程」北京语言大学出版社 2010年第 1 1 版			
≪評価の方法≫			
講師評価100%（出席、授業態度、課題などによる総合評価）			
≪備考≫			

授業科目名：中国語プレゼンテーション		クラス：2年中国語	
担当：小林蓮佳、俞虹、楊玲			
年次： 2	期間：1学期間	総時間数：30	単位数：2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
二年間勉強した内容を自由に発揮して、中国或いは日本の興味のある分野について調べて、中国語でまとめてプレゼンできることを目的とする			
《到達目標（1年間）》			
ある事柄についての自分の意見をまとめて説明できる			
《授業の進め方と方法》			講義・演習
それぞれ興味を持っている分野について調べて、それぞれのペースで文をまとめて、最終的にPPTを作って発表する			
《授業計画》			
第3学期			
第1～2回 先輩たちのプレゼンを見る、興味ある分野について調べる 第3～6回 調べたことを中国語でまとめる 第7～8回 まとめた文をもとにPPTを作る 第9～10回 文とPPTの修正 第11～13回 プレゼンの練習 第14～15回 発表会本番			
《教科書》			
なし、必要に応じてプリントで対応			
《評価の方法》			
本番発表 50％ 講師評価 50％（プレゼンの完成度、出席、授業態度などによる総合評価）			
《備考》			

授業科目名：教養数学（自由選択）		クラス：1年2年	
担当：高木			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本留学生試験対策、その他の試験または就職活動の対策を目的とする。受講生1人1人にそれぞれに対応する。基礎確認問題、応用問題、実践問題と徐々にレベルを上げながら、講義形式と演習形式を交互に行う。			
《到達目標》			
試験合格を到達目標とする			
《授業の進め方と方法》			
基礎の確認、復習、基本の講義と演習、実際の試験を想定した問題の講義と演習へと進める。講義と演習を交互に行う。			
《授業計画》			
学生1人1人に対応するため、授業計画は個別で対応する			
《教科書》			
日本留学生試験過去問題集、SPI試験対策問題集、数検準2級対策本等。ただし、学生にはコピー等を配布するので用意する必要はない。			
《評価の方法》			
毎回の課題提出、テストなどで評価する。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：【外国語海外研修】（自由選択）		クラス：	
担当：			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大60/60	単位数：最大2/2
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
既習の知識や技能を用いて、学習言語の運用能力の向上を目指す。語学学習に加え、観光など通じ現地の歴史・文化・人に触れることによって、研修国についての理解を深める。			
《到達目標》			
・ 学習言語を用いて生活することができる。 ・ 異文化交流を行い、研修国について理解できる。			
《授業の進め方と方法》			
原則、長期休暇中に本校と提携している学校の短期語学研修プログラムに参加する。			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
本校と提携している学校などの短期語学研修プログラムに参加し、修了証や成績表などのコピーと報告書を提出する。			
主な研修先 英語：フィリピン 中国語：北京、台湾 韓国語：ソウル、プサン			
《教科書》			
各研修機関により異なる。			
《評価の方法》			
研修期間や時間数により単位の認定は行うが、学内評価は行わない。			
《備考》			

授業科目名：英語観光ガイド研修（自由選択）		クラス：選択	
担当：小林典子			
年次：1 または 2 年次	期間：集中	総時間数：15	単位数：1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
観光英語の基礎を学び、日本の観光地を訪れた外国人旅行者に英語で観光地を紹介することができる力を育成する。			
《到達目標》			
●日本の文化（神社とお寺）事象について英語で表現することができる。			
●静岡市の観光名所を外国人旅行者に英語で説明できる。			
《授業の進め方と方法》			
校内で英語表現について学習した後、現場にて実際に外国人旅行者に神社と寺の英語ガイドを行う。			
《授業計画》			
Day 1（4授業時間） 静岡の名産であるお茶の淹れ方を英語で学習する。 Day 2（5授業時間） 静岡市の歴史について学び、その英語表現を学習する。 Day 3（6授業時間） 静岡市の観光名所を訪れ、英語ガイドとして案内を行う。			
《教科書》			
関係書類を活用し、プリントを作成する。			
《評価の方法》			
1 5 授業時間の参加で 1 単位を認定する。			
《備考》			
本研修は、清水港に着港する客船の乗客（外国人旅行者）へ清水市内を案内する「しみず観光ガイドの会（清水市民活動センター内）」の活動の一環として行うものとする。			

シラバス

授業科目名：インターンシップ（自由選択）		クラス：	
担当：山西			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大30/30	単位数：最大1/1
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
仕事を体験することで、職業に対する理解を深める。			
《到達目標》			
社会人として必要なことを体験を通して身につける。 報告書が書けるようになる。			
《授業の進め方と方法》			
《授業計画》			
参加希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			
事前説明 ↓ インターンシップ参加 ↓ 報告書提出 ↓ 報告会			
《教科書》			
《評価の方法》			
単位の認定は行うが、評価はしない。			
《備考》			

シラバス

授業科目名：日本語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：山内、青山、勝又、時安、永井、山崎			
年次： 1 / 2	期間：集中	総時間数：最大120/90	単位数：最大8/6
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
日本語能力試験に合格することを目的とし、主に読解対策を行う。			
《到達目標》			
日本語能力試験に合格すること。			
《授業の進め方と方法》			
問題を解き、それに対する解説を行う。			
《授業計画》			
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：英語【対策】（自由選択）		クラス：	
担当：田中、藤田、小林、CORALIA			
年次：1 / 2	期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容			
《授業の概要と目的》			
・英検に合格すること、TOEICおよびIELTSで高得点を取得できる技能を育成する。 ・実用英語技能検定（英検）、TOEIC Listening&Reading、およびIELTSの受験に向け、その試験対策を行う。			
《到達目標》			
英検を受け、受験級に合格できる。 TOEICで650点以上、およびIELTSでバンド5を取得することができる。			
《授業の進め方と方法》			
演習形式で各試験の問題を解き、その後解説を行う。			
《授業計画》			
受講希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。			

シラバス

授業科目名：中国語【対策】（自由選択）		クラス：		
担当：俞虹、小林蓮佳、楊玲、名倉				
年次： 1 / 2		期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容				
《授業の概要と目的》				
HSKに合格することを目的とし、試験対策を行う。				
《到達目標》				
HSKに合格すること。				
《授業の進め方と方法》				
問題を解き、それに対する解説を行う。				
《授業計画》				
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。				
《教科書》				
履修希望者を募集する際に知らせる。				
《評価の方法》				
出席、取り組み、模擬試験の結果などを総合的に評価する				
《備考》				

シラバス

授業科目名：韓国語【対策】（自由選択）		クラス：		
担当：鄭淑然				
年次： 1 / 2		期間：集中	総時間数：最大75/60	単位数：最大5/4
授業科目内容				
《授業の概要と目的》				
ハングル検定または、S-TOPIKに合格することを目的とし、試験対策を行う。				
《到達目標》				
ハングル検定に合格すること。 S-TOPIKに合格すること。				
《授業の進め方と方法》				
問題を解き、それに対する解説を行う。				
《授業計画》				
履修希望者を募集する際に日程と内容の詳細を知らせる。				

教 育 課 程 表 (2 0 2 5 度 生)

外国語学科

科目区分	必修・ 選択の 別	授業科目	1学年 年間合計 時間	1学年 単位	2学年 年間合計 時間	2学年 単位	授業時間 合計	単位数 合計
専門科目	必修	コミュニケーションⅠ	30	2	0	0	30	2
		コミュニケーションⅡ	0	0	15	1	15	1
		社会・経済論	0	0	30	2	30	2
		異文化理解	0	0	30	2	30	2
		比較言語	0	0	30	2	30	2
		現代史	0	0	30	2	30	2
		文章表現・レポート作成	0	0	30	2	30	2
		パソコンリテラシー	120	8	0	0	120	8
		オフィスIT技術	30	2	60	4	90	6
		プレゼンテーション技術	30	2	0	0	30	2
		プレゼンテーション	30	2	0	0	30	2
		ビジネス英語	240	16	225	15	465	31
	選択必修 (注1)	韓国語文法	150	10	120	8	270	18
		韓国語総合スキル	120	8	90	6	210	14
		韓国文化と社会	75	5	0	0	75	5
		韓国語会話	90	6	30	2	120	8
		韓国語読解	0	0	75	5	75	5
		韓国語作文	0	0	60	4	60	4
		韓国語表現	0	0	30	2	30	2
		韓国語プレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
		中国語文法	150	10	120	8	270	18
		中国語総合スキル	120	8	90	6	210	14
		中国文化と社会	75	5	0	0	75	5
		中国語会話	90	6	30	2	120	8
		中国語読解	0	0	75	5	75	5
		中国語作文	0	0	60	4	60	4
		中国語表現	0	0	30	2	30	2
		中国語プレゼンテーション	0	0	30	2	30	2
	自由 選択 (注2) (注3)	教養数学	30	2	30	2	60	4
		英語研修	60	4	60	4	120	8
		英語観光ガイド研修	15	1	15	1	30	2
		中国語研修	60	4	60	4	120	8
		韓国語研修	60	4	60	4	120	8
		インターンシップ	30	2	30	2	60	4
		日本語検定対策	120	8	90	6	210	14
		英語検定対策	75	5	60	4	135	9
		中国語検定対策	75	5	60	4	135	9
		韓国語検定対策	75	5	60	4	135	9

卒業に必要な総授業時間数	870	58	870	58	1740	
--------------	-----	----	-----	----	------	--

注1:選択必修として韓国語または中国語を選択し、第1学年、第2学年にそれぞれ31単位以上を履修すること。

注2:自由選択科目には長期休暇中などに実施されるものもある。

注3:外国語検定対策以外の自由選択科目は、1年次または2年次のいずれかで履修すること。